

令和5年度第1回 川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会

日 時 令和5年12月5日(火)
午前10時～正午
会 場 川崎市市民文化局会議室
(川崎フロンティアビル9階)

次 第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 館長挨拶
- 4 委員の紹介
- 5 部会長の選任
- 6 議事
 - (1) 令和5年度事業の中間評価及び今後の事業予定について
 - (2) 被災収蔵品の修復活動の状況について(報告)
 - (3) その他
- 7 閉会

資料

- 資料1 川崎市市民ミュージアムの概要及び市民ミュージアム部会について
- 資料2 令和5年度川崎市市民ミュージアム事業報告・評価について
- 資料3 令和5年度川崎市市民ミュージアム事業計画及び中間報告
- 資料4 川崎市市民ミュージアム 収蔵品レスキューの状況について
- 参考資料1 川崎市文化芸術振興会議規則
- 参考資料2 川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会設置要綱

川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会委員名簿

○委員（敬称略：五十音順 令和5年12月5日現在）

いなにわ さわこ 稲庭 彩和子	独立行政法人国立西洋美術館 国立アトリサーチセンター 主任研究員 新たなミュージアムに関する基本計画懇談会委員
なかむら わかな 中村 若菜	はなうた図工室 代表 一般社団法人日本臨床化粧療法士協会 理事
ひらい ひろのり 平井 宏典	和光大学経済経営学部 教授
ふじしま としえ 藤嶋 俊會	美術評論家連盟会員 元神奈川芸術文化財団学芸員 かわさき市美術展懇談会委員

資料 1

1 川崎市市民ミュージアムの概要

昭和63年に開館した川崎市市民ミュージアムは、博物館・美術館の機能を併せもち、市民に文化芸術に触れる機会を提供する市内の中心的な施設として、平成30年度には30万人を超える利用者がありました。

しかし、令和元年東日本台風により地階収蔵庫等に浸水被害を受けたために、現在も休館しており、出張形式やオンラインによる展覧会開催や教育普及活動に取り組む一方、被災収蔵品の修復（レスキュー）活動を進めております。

平成29年度から令和3年度までは指定管理者による管理運営を行ってきましたが、被災した施設では市民が立ち入って利用できるミュージアムとしての機能を再開しない方針としたことから、令和4年度からは本市の直営事業所として管理運営を行い、学芸業務については委託により実施するとともに、令和5年10月に麻生区内の仮設事務所に移転し、館外およびオンラインでの展覧会等の開催及び被災収蔵品の修復業務を継続しています。

【施設概要】

	令和5年9月30日まで	令和5年10月1日以降
所在地	中原区等々力1-2	麻生区上麻生6-15-2 (麻生水処理センター敷地内)
規模	地上3階地下1階	地上2階
敷地面積	25,358㎡	1,755㎡
建築面積	8,386㎡	
延床面積	19,542㎡	1,024㎡
主な設備	常設展示室、企画展示室、アートギャラリー、映像ホール等（いずれも被災後休止）、冷凍倉庫（コンテナ）4基（被災後に設置）	被災収蔵品レスキュー作業及び事務所機能（展示室等は有さない）、冷凍倉庫（コンテナ）4基

2 市民ミュージアム管理運営事業

(1) 目的

本市の歴史資料と美術・映像作品を扱うなど市民から親しまれる魅力ある博物館をめざすとともに、博物館と美術館の機能を併せ持つ公立の複合文化施設として、文化芸術を活かしたまちづくりを推進し、市民の教育、学術等に資するとともに市民相互の交流を通じて、市民の教育、学術及び文化の発展に貢献します。

(2) 事業内容

- ・代替施設や市内の文化施設等を活用し、次のような博物館・美術館活動を行います。
 - ・資料・作品の収集保管、調査研究
 - ・市内の文化施設等を活用した展示、教育普及
 - ・市民の文化活動の助長、奨励及び指導
 - ・刊行物及び情報の交換や資料等の相互貸借
 - ・解説書や目録、年報調査研究報告書等の作成及び頒布

- ・令和元年東日本台風により被災した収蔵品の修復作業を行います。
- ・新たなミュージアムの整備に向けた計画の作成に向けた取組を行います。(※)
(※)については、市民文化振興室が所掌

3 川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会について

川崎市文化芸術振興会議は、文化芸術に関する事項の審議や文化アセスメントの実施等を行う本市の附属機関です。同会議の部会として令和4年度に設置された市民ミュージアム部会は、学識経験者の審議を通じて、各年度の事業評価をはじめ、市民ミュージアムの円滑な運営を進めていくことを目的としております。

部会員の定数は4名で、任期は親会議である川崎市文化芸術振興会議の委員に準じます。

令和5年度川崎市市民ミュージアム事業報告・評価について

1 趣旨

川崎市市民ミュージアム(以下「ミュージアム」という。)の活動のさらなる充実を図るため、川崎市文化芸術振興会議の部会である市民ミュージアム部会において、令和5年度のミュージアム事業全般に対する評価を実施する。

2 評価の目的

- (1) ミュージアムの事業全般に対して、外部の学識経験者に客観的かつ多様な視点からの評価を受けることで、ミュージアムの課題を明確化し、運営のさらなる充実につなげる。
- (2) 評価を継続実施することで、中長期的なミュージアム運営の改善につなげていく。
- (3) ミュージアムの事業内容・評価を公表することにより、運営の透明性を高め、ミュージアム事業に対する市民の理解を得る。

3 評価者

川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会委員

4 評価方法

令和5年度の実施事業(項目)について、次の(1)及び(2)の評価を実施する。

- (1) ミュージアムによる内部評価(自己点検)として、実施状況・成果等、課題・反省等
- (2) 市民ミュージアム部会委員による外部評価として、意見(評価できる点や課題等)及び評定

※評定 A：十分に達成
B：概ね達成
C：達成に至らず

令和5年度川崎市市民ミュージアム事業計画及び予算並びに中間報告

(12月5日現在)

<目次>

1	完了した展覧会・上映会・教育普及事業（今回、報告評価を行うもの）	
(1)	展覧会・上映会	
	展覧会① 昔のくらしと道具たちー衣・食・住の移り変わりー	… 2
	展覧会② 川崎市市民ミュージアム出張 夕やけ上映会【中止】	… 4
(2)	教育普及	
	教育普及① ファミリー向けワークショップ ミュージアムってナニ？集めて見せよう！並べて話そう！	… 6
2	開催中または今後開催予定の展覧会・上映会・教育普及事業	
(1)	展覧会・上映会	
	展覧会③ 川崎宿 ー1623～2023ー	… 8
	展覧会④ オンライン展覧会「新民謡と町おこし ー多摩川音頭と川崎地域ー」	… 9
	展覧会⑤ オンライン展覧会「大島康幸展」	…10
	展覧会⑥ オンライン展覧会「(仮) 折元立見展」	…11
	展覧会⑦ 第57回かわさき市美術展	…12
	展覧会⑧ 川崎市市民ミュージアムー誕生と軌跡ー	…14
	展覧会⑨ 上映会「アニメ あ・ら・かると」	…15
(2)	教育普及	
	教育普及② 市民ミュージアム講座（オンラインセミナー）	…16
	教育普及③ (仮) 回想法ワークショップ	…17
	教育普及④ (仮) 史跡めぐり	…17
	教育普及⑤ 社会科教育推進事業	…18
	教育普及⑥ スクールプログラム	…18
3	資料等の調査、収集・受入、研究、修復に関する業務 【実施中】	…19
4	広報に関する業務 【実施中】	…19
5	収蔵品の外部利用に関する業務 【実施中】	…19
6	ミュージアムショップの運営に関する業務 【実施中】	…20
7	令和5年度 市民ミュージアム事業費 予算	…21

1 完了した展覧会・上映会・教育普及事業（今回、報告評価を行うもの）

（1）展覧会・上映会

【展覧会①】

事業名	昔の暮らしと道具たちー衣・食・住の移り変わりー
会 期	令和5年6月24日（土）～9月3日（日）
会 場	川崎市大山街道ふるさと館
コンセプト	<p>衣・食・住は人間が生活をしていく基本となるものであり、いずれも今も昔も人々の暮らしに無くてはならないものです。そして、衣食住を含む「暮らし」の様子は時代とともに変化していきます。</p> <p>特に昭和期は、不景気や戦争など多くの困難を乗り越えて、次第に世の中が豊かになっていく時代です。家事は手作業で行われていたため、多くの時間がかかっていましたが、電化製品が登場し、広く家庭で使われるようになったことで、時間がかからなくなってきました。</p> <p>本展では、衣類・食物・住居の3つのテーマに注目し、昭和期を中心にその前後の時代との変化について紹介します。実際に川崎市内で使用されていた生活道具に接することで、地域の歴史や文化への関心を高めてもらう機会とします。</p> <p>【主なターゲット層】 小学校3・4年生とその家族、高齢者層</p>
展示内容	<p>当館所蔵資料（家電製品、川崎市政ニュース映画等） 川崎市大山街道ふるさと館所蔵資料（ランプ、会席膳、写真資料等）、東芝未来科学館所蔵資料（電気コンロ） その他中原図書館・川崎市公文書館所蔵資料（写真資料） 159点（収蔵品69点・借用品90点）</p>
関連事業	<p>【当館主催】</p> <p>①「昔のおもちゃで遊んでみよう！」（7月15日（土）） 参加36名</p> <p>②「さわれるシネマ～8ミリフィルムカメラで撮影と現像をしてみよう」（8月6日（日）・8月11日（金・祝）参加7組16名</p> <p>【大山街道ふるさと館主催】</p> <p>③夏休みふるさと発見講座「昔の道具を使ってみよう！」（8月5日（土））参加28名</p>
その他	共催：川崎市大山街道ふるさと館

自己評価
<p><実施状況・成果></p> <p>【来場者数】 2,349人</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートによる観覧者層は、ターゲット層である10歳未満の子どもたちが全体の約2割、10代も約2割、子供たちの保護者の年代層である30～40代が2割強を占めました。居住地別では会場のある高津区が全体の3分の1を占めたほか、東京都内からの来場者も約1割いました。 当館収蔵資料で、昭和期の世情がわかる川崎市政ニュース映画の上映が好評でした。 関連事業はいずれも募集定員を大きく上回る応募があり、特に「さわれるシネマ」は8ミリフィルムでの撮影から現像まで体験してもらう貴重な取組となりました。
<p><課題・反省等></p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年の同時期に大山街道ふるさと館で開催した企画展「のぞいてみよう昔の暮らし」(来場者3,062人)と比較し、来場者数が減少しました。今回は会場施設の外構工事が行われていたことや、猛暑の影響等も考えられますが、展示室の面積等に制約がある中で今後も毎年見に来たくなる企画や広報の仕掛けを検討していく必要があります。

<p><外部評価>意見(評価できる点や課題など)</p> <p style="text-align: center;">[A:十分に達成 B:概ね達成 C:達成に至らず]</p>	B
<ul style="list-style-type: none"> 来場者の感想を把握するとともに、前年度の実績を踏まえた目標設定と結果の比較・評価のためにも、来場者アンケートの取り方を工夫したほうがよい。 	



【展覧会②】

事業名	川崎市市民ミュージアム出張 夕やけ上映会
会期	令和5年9月9日(土) ※当日雨天のため中止
会場	等々力緑地 催し物広場
コンセプト	<p>被災収蔵品修復の成果として、処置が完了した作品を市民に見ていただくとともに、映画鑑賞体験を楽しんでいただく機会として、上映会を開催します。動画配信サービスが普及し、映画上映の形式や鑑賞手段が変化してきている現代において、スクリーンで不特定多数と映画を一緒に見るという鑑賞体験は薄れつつある中、野外上映の形式をとることで、より多くの観客が気軽にスクリーンで映画鑑賞を体験できる機会を創出することを目指します。</p> <p>上映作品については、被災収蔵品レスキューの過程でデジタル化を行った「川崎市政ニュース映画」と、中原区内の卓球場や多摩区のみうらランドでもロケが行われた青春卓球映画『ピンポン』を選定しました。</p>
内容	<p>【上映作品】</p> <p>(1) 題名：川崎市政ニュース映画（2作品、合計約4分30秒） 制作：神奈川ニュース映画協会</p> <p>(2) 題名：ピンポン（2002年／114分／アスミック・エース） 原作：松本大洋「ピンポン」、監督：曾利文彦 脚本：宮藤官九郎 出演：窪塚洋介、ARATA、サム・リー、中村獅童、竹中直人、夏木マリ ほか</p> <p>【入場料】無料</p>
関連事業	
その他	<p>来場者へのノベルティとして、上映作品のストーリー解説やロケ地マップを盛り込んだリーフレットを作成しました。</p> <p>技術協力：株式会社東真トリニティ、有限会社鈴木映画、有限会社ヤマガタ</p> <p>広報協力：「映像のまち・かわさき」推進フォーラム</p>

自己評価
<p><実施状況・成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・台風13号から変わった熱帯低気圧の影響による降雨が続き、グラウンド状態不良のため会場の設営ができない状況となったことから、当日午前9時に中止を決定し、午前10時に市民ミュージアムのホームページ及びSNSで開催中止を発表しました。
<p><課題・反省等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・野外上映会において天候のリスクは避けられないものではありますが、日没時間と気候の関係で開催に適した時期に限られることに加え、外部から派遣いただく映写技術者のスケジュールが繁忙であるため、予備日を設定できませんでした。今後も出張形式の上映会を継続していくうえで、開催手法やリスクマネジメントが検討課題です。 ・開催予定の時間帯には雨がやんでいたことから、中止を知らずに会場に足を運ばれた方がいました。

<p><外部評価>意見（評価できる点や課題など）</p> <p>[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	C
<ul style="list-style-type: none"> ・天候に左右される性質の事業なので、リスクマネジメントや中止の場合にお知らせする方法を今後さらに検討していただきたい。 ・来場者配布用のリーフレットも非常に魅力的なものと感じるだけに、中止になったのは非常に残念である。 	



(2) 教育普及事業

【教育普及①】

事業名	ファミリー向けワークショップ ミュージアムってナニ？集めて見せよう！並べて話そう！
会期	令和5年10月29日（日）
会場	川崎市生活文化会館てくのかわさき 工作実習室
コンセプト	<p>川崎市市民ミュージアムが被災してから4年が経過し、小学校へ出張授業に出向いた際に当館への来館経験を尋ねても、手を上げる児童は年々少なくなっている実態があります。</p> <p>そのため、小学生およびその保護者を対象に、ミュージアムとはどんな場所か、どんな役割を持つのか体験を通して学んだり、当館は現在どのような状況なのか紹介するワークショップを開催します。</p> <p>活動を通じて、当館に関心を持つきっかけ作りに加え、自分や家族、他の参加者の大切な「もの」に意識を向け、ものを大切にす る・保存することについて考え、参加者同士で共有します。</p>
内容	<p>前半 ミュージアムってどんなところ？自分の大切なものを展示してみよう</p> <p>①参加者に自分の大切なものを家から持ってきてもらう（1個）</p> <p>②1辺40cmの立方体の箱に入れ、自分の大切なものを展示する。 タイトルなどを記載したキャプションも作る</p> <p>③それぞれの箱を並べ、展示会場（のような空間）を作る</p> <p>④参加者に心惹かれた展示や自分の大切なものにまつわるエピソードを話してもらう</p> <p>後半 川崎市市民ミュージアムって今どうなっているの？ミュージアムの被災と修復の紹介</p> <p>⑤市民ミュージアムの被災や収蔵品の状況を紹介する</p> <p>⑥修復に使っている道具を紹介し、実際に触ったり体験してもらう</p> <p>⑦ミュージアムの状況を知って、どんなことを思うか、これからどんなことができたらいいかを自由に話し合う</p> <p>⑧まとめ</p> <p>【募集定員】 8組 【受講料】 無料</p>
関連事業	
その他	協力団体（ファシリテーター） 「山と水の図工室」水野明香氏、山内佑輔氏

自己評価
<p><実施状況・成果></p> <p>【参加者数】 7組 21名（親子合わせた人数）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定員8組で募集したところ、23組の応募があったため抽選を行いました。 （1組当日キャンセルとなり、7組で実施） ・ミュージアムの基本的な機能である「保管」「展示」といった要素を参加者自身の宝物を用いて体験することで、博物館や美術館を身近に感じる場にしたと考えます。 ・参加者アンケートでは、「家族でよく行っていた市民ミュージアムの活動に参加できてよかった」「大変楽しかったです。恥ずかしながら、美術館が被災したことを存じ上げませんでした。それを知ったことも大きな収穫です。」といった御感想のほか、「親は親同士、子どもは子ども同士でやるのもありではと思いました。」との今後のヒントとなる御提案をいただくことができました。
<p><課題・反省等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちと実際にやってみると2時間で行うには内容が多く、もう少し要素を削ぎ落して、ひとつの作業に時間をかけてもよかったと感じております。 ・これからもミュージアムの現状を伝えたり修復をテーマにしたワークショップを開催していく必要があるため、今回の反省点もふまえて企画していきます。また、全体の内容をもう少し練り、スクールプログラムとして実施できるようにするなどブラッシュアップさせることも視野に入れたいと考えております。

<p><外部評価>意見（評価できる点や課題など）</p> <p style="text-align: center;">[A：十分に達成 B：概ね達成 C：達成に至らず]</p>	A
<ul style="list-style-type: none"> ・被災収蔵品の修復中である市民ミュージアムだからこそその体験や学びがあり、新たなミュージアムにもつながるワークショップだと感じた。 ・ミュージアムを知ろうということと現状の紹介で、川崎市市民ミュージアムがすべきことが詰まっている有意義なプログラムである。 	



2 開催中または今後開催予定の展覧会・上映会・教育普及事業

(1) 展覧会・上映会

【展覧会③】※来場者アンケートの取りまとめ等が完了していないため、第2回部会で報告・評価を実施します。

事業名	川崎宿 —1623～2023—
会期	令和5年10月1日（日）～11月26日（日）
会場	東海道かわさき宿交流館
コンセプト	<p>令和5（2023）年は、川崎宿起立400周年にあたります。江戸時代の川崎宿は東海道の主要な宿場の一つであり、現在の川崎市の基礎となっているが、史料が少ないこともあり、未解明の部分も多く残されています。</p> <p>本展では、川崎市市民ミュージアムの常設展で展示されてきた史料に加えて、これまで紹介されてこなかった史料も交えて、可能な限り川崎宿の実態に迫ることを目指します。中でも、徳川家茂の上洛や明治天皇の東幸など、幕末から明治維新にかけ川崎宿が終焉を迎える時代について、焦点を当てる企画展です。</p>
内容	<p>【当館収蔵品】</p> <p>「下乗札」（初公開史料／明治元年10月の明治天皇東幸の際に本陣の前に掲げられた木札）</p> <p>「川崎年代記録 上」、「川崎宿並書上帳」、「渡船賃高札」、「浪花講看板」、「主上御東幸之節玉川舟はしの図」等</p> <p>など約50点</p> <p>【来場者数】 4246人</p>
関連事業	<p>【当館主催】</p> <p>①オンライン史跡めぐり「川崎宿 その跡をめぐる」（9月25日（月）～3月29日（金））</p> <p>②講演「江戸時代の旅と食」（11月4日（土））参加40名</p> <p>【川崎市公文書館主催】</p> <p>③古文書講座「大名の川崎宿止宿と関札」（10月22日（日）、10月29日（日）、11月5日（日））</p> <p>※菊地学芸員を講師派遣</p>
その他	<p>共催：東海道かわさき宿交流館</p> <p>関連グッズとして、図録「川崎宿」及び「川崎宿往還絵図」複製ポスターを作成し、当館オンラインショップで販売しているほか、東海道かわさき宿交流館の指定管理者に図録等の販売収納事務を委託し（令和5年10月～12月）、同館売店でも販売を行っています。</p>

【展覧会④】

事業名	オンライン展覧会「新民謡と町おこし —多摩川音頭と川崎地域—」
会期	令和5年7月28日（金）～令和6年3月29日（金）
会場	オンライン（市民ミュージアムのウェブサイト上に開設した展示空間「the 3rd Area of “C” —3つめのミュージアム—」にて公開） https://www.kawasaki-museum.jp/thirdarea/
コンセプト	大正末期から昭和初期の時代に、全国各地で「新民謡」と呼ばれる一種のご当地ソング（盆踊り）が盛んに作られた背景を探るとともに、北原白秋作詞による多摩川音頭をはじめとする、川崎の新民謡の歴史を発掘します。
内容	「多摩川音頭」を北原白秋が作詞した際の自筆原稿（初公開）を中心に、川崎市域の新民謡に関する資料画像約30点を解説テキストとともに展示する企画です。 また、「多摩川音頭」の歌詞・メロディーや現在どのように伝承されているのかを知ってもらうため、市民ミュージアムの学芸・広報スタッフが指導を受け、実際に踊ってみた動画「新民謡チャレンジ—踊ってみよう！多摩川音頭—」を制作・公開しております。
関連事業	ミュージアム講座「新民謡と町おこし —多摩川音頭と川崎地域—」は、本展の内容と連動した講座です。
その他	



【展覧会⑤】

事業名	オンライン展覧会「大島康幸展」
会期	令和5年10月5日(木)～令和6年3月29日(金)
会場	オンライン(市民ミュージアムのウェブサイト上に開設した展示空間「the 3rd Area of “C” —3つめのミュージアム—」にて公開) https://www.kawasaki-museum.jp/thirdarea/
コンセプト	<p>川崎市麻生区在住の大島康幸氏は、動物の表皮を木彫りで表現した「FAKE FUR」シリーズに代表される彫刻家です。2003年から発表されているこれらの作品は、モチーフとなった動物の頭部や手足は非常にリアルに彫り上げられていますが、胴体にあるはずの骨や肉はなく、表皮の襞(ひだ)やたるみが表現されているのが特色です。</p> <p>本展は市内在住作家である大島氏の作品を紹介することとともに、等々力緑地時代の市民ミュージアムでは最後となる展示室での作品展示及び撮影を行うことで、旧施設での展示風景を記録・公開することもねらいとしています。</p>
内容	<p>大島氏が近年手掛ける「FAKE FUR」シリーズをはじめ、2005年に発表した「時間(とき)の衣」、2021年発表の「始まり」の3つシリーズ計36点の作品を紹介します。</p> <p>また今回の撮影のために、移転前の市民ミュージアム(中原区)の展示室に作品を展示した模様や、作家のインタビュー動画も公開しています。</p>
関連事業	ワークショップ「ねんどでふえいくふぁー」(11月11日) 参加8組24名(保護者含む。うち14名が作品制作)
その他	図録「大島康幸展 YASUYUKI OSHIMA」を作成し、当館オンラインショップで販売しています。



【展覧会⑥】

事業名	オンライン展覧会「(仮) 折元立身展」
会 期	令和6年3月～令和6年3月29日(金)
会 場	オンライン(市民ミュージアムのウェブサイト上に開設した展示空間「the 3rd Area of “C” —3つめのミュージアム—」にて公開) https://www.kawasaki-museum.jp/thirdarea/
コンセプト	川崎生まれのパフォーマー・折元立身氏は、パフォーマンス・アーティストとして、ヴェネチア・ビエンナーレを始め現代美術の frontline で、国際的な活動を繰り広げてきました。その作品は、ひとを驚かせるユニークな発想に満ちています。 これまでに当館が取り上げてきた展覧会等を振り返るとともに、最近の活動について紹介します。
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28(2016)年の企画展「折元 立身：生きるアート」の振り返りを中心とした、長年かつ多岐にわたるパフォーマンスの紹介 ・最近の活動及び折元氏の最新インタビュー
関連事業	視覚障害者との鑑賞ワークショップ (会期中に zoom を活用する形式で開催予定)
その他	

【展覧会⑦】

事業名	第57回かわさき市美術展																													
会期	入選作品 令和6年1月11日(木)～1月18日(木) 入賞作品 令和6年1月20日(土)～1月27日(土) 表彰式 令和6年1月27日(土)																													
会場	ミューザ川崎シンフォニーホール 企画展示室																													
コンセプト	<p>かわさき市美術展(以下、市美展という。)は、昭和42年(1967)から行われている、川崎市の芸術文化活動の振興を目的とした展覧会です。本展では、川崎市に在住、あるいは市内で制作活動をしている人々から作品を公募し、審査の上、入賞及び入選作品を展示することにより、市民が文化芸術活動に主体的に参加し、また鑑賞する機会を広く提供します。</p>																													
内容	<p>【部門】 ①平面部門②彫刻・立体造形③工芸④写真⑤書⑥中高生 の6部門</p> <p>【応募料】 一般：1点 2,500円、2点 4,000円 ※パラアーティストを支援する取組として、今回から、搬入受付時に確認書類(身体障害者手帳・戦傷病者手帳・被爆者健康手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳等)の提示があった応募者については、応募料を減額しております。(1点1,300円、2点2,000円) なお、審査については全応募作品同じ条件のもとで行い、展示の際も障害の有無についての記載等はしないこととします。 中高生：無料</p> <p>【表彰】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>対象</th> <th>賞</th> <th>人数</th> <th>授与品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>最優秀賞</td> <td>6部門を通じて1名</td> <td>賞状、賞賜金30万円</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">一般</td> <td>優秀賞</td> <td>5部門を通じて4名</td> <td>賞状、賞賜金10万円</td> </tr> <tr> <td>奨励賞</td> <td>5部門を通じて8名</td> <td>賞状、賞賜金1万円</td> </tr> <tr> <td>審査員特別賞</td> <td>5部門を通じて若干名</td> <td>賞状</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中高生</td> <td>コミュゼ川崎大賞</td> <td>1名</td> <td>賞状、副賞(図書カード)</td> </tr> <tr> <td>優秀賞</td> <td>5名</td> <td>賞状、副賞(図書カード)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>市民賞</td> <td>入選作品から来場者投票により決定</td> <td>賞状</td> </tr> </tbody> </table>	対象	賞	人数	授与品		最優秀賞	6部門を通じて1名	賞状、賞賜金30万円	一般	優秀賞	5部門を通じて4名	賞状、賞賜金10万円	奨励賞	5部門を通じて8名	賞状、賞賜金1万円	審査員特別賞	5部門を通じて若干名	賞状	中高生	コミュゼ川崎大賞	1名	賞状、副賞(図書カード)	優秀賞	5名	賞状、副賞(図書カード)		市民賞	入選作品から来場者投票により決定	賞状
対象	賞	人数	授与品																											
	最優秀賞	6部門を通じて1名	賞状、賞賜金30万円																											
一般	優秀賞	5部門を通じて4名	賞状、賞賜金10万円																											
	奨励賞	5部門を通じて8名	賞状、賞賜金1万円																											
	審査員特別賞	5部門を通じて若干名	賞状																											
中高生	コミュゼ川崎大賞	1名	賞状、副賞(図書カード)																											
	優秀賞	5名	賞状、副賞(図書カード)																											
	市民賞	入選作品から来場者投票により決定	賞状																											

	<p>参考 近年の応募・入選入賞作品数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>応募者数</th> <th>応募作品数</th> <th>入選入賞者数</th> <th>入選入賞作品数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第54回 (R2)</td> <td>283</td> <td>373</td> <td>110</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td>第55回 (R3)</td> <td>245</td> <td>315</td> <td>111</td> <td>113</td> </tr> <tr> <td>第56回 (R4)</td> <td>273</td> <td>351</td> <td>120</td> <td>123</td> </tr> <tr> <td>第57回 (R5)</td> <td>273</td> <td>367</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		応募者数	応募作品数	入選入賞者数	入選入賞作品数	第54回 (R2)	283	373	110	113	第55回 (R3)	245	315	111	113	第56回 (R4)	273	351	120	123	第57回 (R5)	273	367		
	応募者数	応募作品数	入選入賞者数	入選入賞作品数																						
第54回 (R2)	283	373	110	113																						
第55回 (R3)	245	315	111	113																						
第56回 (R4)	273	351	120	123																						
第57回 (R5)	273	367																								
関連事業	<p>オンラインセミナー（視聴無料） 「工芸のはなし 日常の発見 一つくる・みる・つかうー」 https://www.kawasaki-museum.jp/event/28116/</p> <p>【講師】三上 亮氏（陶芸作家・東京藝術大学美術学部教授） 【配信期間】 令和5年9月29日（金）～令和6年3月29日（金）</p>																									
その他	<p>かわさき市美術展懇談会を設置し、学識経験者から本市の文化振興上、より効果的な美術展とするための取組や、展示及び会場運営に関する意見を聴取しています。</p> <p>協賛：川崎信用金庫、セレサ川崎農業協同組合 後援：川崎市教育委員会、かわさきFM（79.1MHz）</p>																									

【展覧会⑧】

事業名	川崎市市民ミュージアムー誕生と軌跡ー
会 期	令和6年2月18日(土)～3月5日(火)
会 場	川崎市教育文化会館
コンセプト	<p>川崎市市民ミュージアムは、昭和63(1988)年に博物館・美術館の融合施設として開館した川崎市市民ミュージアムは、従来美術館が扱ってこなかった写真・漫画・映画といった複製芸術を収蔵するなど、先駆的な取り組みを展開してきました。</p> <p>市民ミュージアムが誕生するまでの前史、建築物としての館の特色、そして35年間の様々な企画展等を回顧します。</p> <p>教育文化会館での資料展示を中心に、関連企画としてオンライン配信、講演会、ワークショップなどを幅広く展開し、多くの市民にミュージアムのこれからについて考えるきっかけにさせていただくことを狙いとします。</p>
内 容	<p>主な展示内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川崎市市民ミュージアム建築当時の図面等 ・令和5年度に撮影した移転前の市民ミュージアム建物の3Dデータをもととしたデジタル展示 ・これまでに開催してきた企画展に関する資料 <p>など約120点を展示予定。</p>
関連事業	<p>いずれも企画の詳細を調整中</p> <p>①おうちでミュージアム！川崎市市民ミュージアム web ツアー (令和6年2月～3月配信)</p> <p>②講演会「川崎市市民ミュージアムの建築(仮)」 (令和6年2月23日(金・祝))</p> <p>③絵巻物マシーンワークショップ(仮)(令和6年2月10日(土))</p>
その他	

【展覧会⑨】

事業名	(仮) 上映会 アニメ あ・ら・かると
会 期	令和6年3月2日(土)
会 場	中原市民館 ホール
コンセプト	<p>川崎市市民ミュージアムの開館間もない平成元年(1989)に、アニメーション作家たちと市民が「アニメ あ・ら・かると」という短編映像を製作しました。同作品のほか、サイレントの時代のアニメーション映画を伴奏者・活弁士付きで見ていただく、ファミリー層や映画ファンをターゲットとした上映会を開催します。</p> <p>上映の合間には、アニメーションやフィルム映画について映像装置を使った実演や解説を行うとともに、上映後は装置やフィルムに触ってみることができる体験コーナーも設け、デジタル化が進む前の時代の映画の仕組みへの関心を高めてもらう構成とします。</p>
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・「エミール・コール短編映画集」(1908年～1912年／監督：エミール・コール／16ミリ／白黒12分) ・「アニメ あ・ら・かると」(1989年／監督：西倉喜代治／35ミリ／カラー10分) <p>ほか、他館からの借用作品3本程度とともに上映予定 定員 200名(事前申込制)</p>
関連事業	
その他	

(2) 教育普及事業

【教育普及②】

事業名	市民ミュージアム講座（オンラインセミナー）
会 期	令和5年7月～令和6年3月の期間に4講座 （各講座の配信期間は、配信開始～令和6年3月29日）
会 場	オンライン配信
コンセプト	市民ミュージアムの收藏品や研究成果を発信していくため、学芸員が専門分野について分かりやすく解説する講座を動画配信します。 幅広い分野の専門的な知識を提供することにより、当館がオンライン上で社会に貢献する場としていきます。
内 容	<オンラインセミナートップページ> https://www.kawasaki-museum.jp/event/28181/ 【歴史分野】 「新民謡と町おこし ー多摩川音頭と川崎地域ー」（講師：鈴木勇一郎学芸員）※7月21日から配信中。同タイトルのオンライン展覧会との連動企画 【歴史分野】 「川崎宿事件簿2 川崎宿で盗難発生か!？」（講師：菊地悠介学芸員）※9月15日から配信中。企画展「川崎宿ー1623～2023ー」との連動企画 【漫画分野】 「昔の漫画(とアニメ)に詳しくなろう!日本初のアニメーションを作った男たち編」（講師：新美琢真学芸員）※10月6日から配信中 【美術文芸分野】 「佐藤惣之助と詩」（講師：佐藤美子学芸員）※12月1日から配信中
関連事業	
その他	アクセシビリティ向上のため、講義の内容について手話と字幕をつける取組を初めて実施しております。 また、大正時代に日本初の日刊連載の新聞四コマ漫画として人気を博した「正チャンの冒険」が今年誕生100周年を迎えたこと及び関東大震災から100周年を迎えたことにあわせ、令和3・4年度に配信した2講座を期間限定で再配信しました。 ・昔の漫画に詳しくなろう!「正チャンの冒険」編 ・昔の漫画に詳しくなろう!「漫画の歴史は関東大震災が変えた!？」編

【教育普及③】

事業名	(仮) 回想法ワークショップ
会 期	令和6年2月～3月 ※それぞれ参加者を募集し、2回実施予定
会 場	麻生区内
コンセプト	当館の収蔵品を幅広い年代の方に鑑賞したり、作品の感想等を通じて会話の輪を広げていただく場をつくる一環として、高齢者が利用する施設に出張する形で地域の高齢者や家族、施設職員に当館の収蔵作品を鑑賞していただく事業を行い、参加者の心身の健康に寄与することを目指します。
内 容	高齢者利用施設・集会所等で、当館収蔵の美術作品（画像）をプロジェクターで投影する形式で鑑賞します。 主な対象を高齢者のうち軽度の認知症の方とその家族、アクティブシニア層、施設職員とし、参加者同士の会話がふくらませることを重視し、各回の募集定員10名程度の規模を念頭に企画内容の調整を進めております。
関連事業	
その他	(協力予定団体) ファシリテーター：一般社団法人 Arts Alive 参加者募集等協力：株式会社 SOERUTE 看護小規模多機能支え合い

【教育普及④】

事業名	(仮) 史跡めぐり
会 期	令和6年3月（2回構成を予定）
会 場	麻生区内
コンセプト	市内の史跡をめぐることを通じて地域の歴史を掘り下げ、地域の文化振興とふるさと川崎への帰属意識を醸成します。 小学生など若い世代への積極的な参加をうながし、ゲスト講師をお願いする方との異世代交流やゲスト講師同士の交流を深めていただく機会としていきます。
内 容	今年度は、当館事務所が麻生区に移転したこともあり、麻生区内の史跡を巡るコースの策定作業中です。 「柿生」の由来となった禅寺丸柿をテーマにゆかりの史跡を訪ね周辺地域の歴史・文化を感じていただく内容とします。 募集定員 15～25名程度（予定）
関連事業	
その他	

【教育普及⑤】

事業名	社会科教育推進事業
会 期	令和5年6月～令和6年3月
会 場	申込のあった学校
コンセプト	市内の小学4年生を対象に、二ヶ領用水に関する体験学習や実物資料の見学を目的とした来館プログラム「社会科教育推進事業」を長年実施してきましたが、令和元年東日本台風の被害により市民ミュージアムの休館が続いているため、出張授業・資料貸出・教材送付の3種類の事業として実施しております。
内 容	出張授業：当館職員が学校に出向き、校内で授業を実施。 資料貸出：クワ、蛇籠（じゃかご）といった出張授業時に使用している資料の貸出。 ワークブック送付：当館で作成した、二ヶ領用水の歴史等をまとめた冊子を希望校に配布。 (参考) 令和4年度は出張授業45校、資料貸出8校、教材送付63校（複数メニューの重複利用あり）。
関連事業	
その他	

【教育普及⑥】

事業名	スクールプログラム
会 期	申込に応じて実施
会 場	申込のあった学校
コンセプト	学校との連携事業として、学芸スタッフが出張し、勾玉作り等の体験や職業紹介等のレクチャー等を通じて、歴史や美術作品、あるいは博物館や美術館そのものに関する知識を得る場や体験する機会を創出します。
内 容	学校等の団体からの申込に応じて、学芸スタッフが出向いてプログラムを実施します。主なメニューは勾玉づくり、ゾードロープ（回転のぞき絵）、職業紹介（学芸員の仕事についてのミニ講演・レクチャー）です。 (参考) 令和4年度は1校で実施（学芸員の仕事についてのミニ講演）。
関連事業	
その他	

3 資料等の調査、収集・受入、研究、修復に関する業務 【実施中】

(1) 調査、収集・受入

市民ミュージアム資料収集方針等に基づき、収集対象となる資料に関する情報を収集し、所有者等の譲渡又は寄贈等の意向の確認等、収集に関して必要となる事項について調査・折衝を行います。また、川崎市市民ミュージアム資料等収集懇談会において、専門家の意見聴取を経て、市が収集をするか否かを決定します。市が収集を決定した資料等については、受入れを行うとともに台帳へ登載します。

(2) 研究

収集・収蔵した資料等について、展覧会や教育普及事業等を行うため、研究等を行います。

(3) 修復

資料等について、今後の展覧会や上映会で活用及び適切な保管のため、修復等を行います。

4 広報に関する業務 【実施中】

(1) 各種広報媒体の作成と活用

各種展覧会、上映会、教育普及事業等について、チラシの作成・配布、市民ミュージアムのホームページやSNS（X(Twitter)、Facebook、Instagram）を通じた情報発信のほか、市政だより等の市広報媒体への掲載に向けた調整を行います。

(2) 市民ミュージアムホームページの管理運営

市民ミュージアムの独自のホームページを管理運営し、随時更新を行っております。

(3) メディアリレーション

新聞・テレビ等での報道を通じて多くの人に市民ミュージアムの活動を知り、展覧会やワークショップに足を運んだり、事業への理解を深めていただくため、事業ごとに報道発表資料を作成するとともに、取材対応や番組制作協力を行います。

(4) 川崎市市民ミュージアム年報及び紀要の作成

ア 年報

市民ミュージアムの事業実績のまとめとして年度ごとに作成している「川崎市市民ミュージアム年報」の令和5年度版を作成します。

イ 紀要

学芸員達の研究の成果を展覧会、教育普及、広報物を発行する際に活用できるよう紀要を作成します。

5 収蔵品の外部利用に関する業務 【実施中】

(1) 貸出し

市民ミュージアムに収蔵または、寄託を受けている収蔵品等について、他の博物館等から展覧会等のための貸出依頼があった場合に、貸出しを行います。

貸出しにあたっては、「川崎市市民ミュージアム資料貸出し要綱」の規定に基づき、収蔵品の保存状態や貸出先の環境条件等を勘案したうえで、申込者との調整、関

係書類の準備及び収蔵品等の貸出し等を行う。著作権等権利関係の取扱いや貸出先の保存環境等について、事前に十分な確認をし、館外貸出の承認をしております。

(2) 特別利用

特別利用とは、市民ミュージアムに収蔵または、寄託を受けている収蔵品等について、熟覧、模写、模造、拓本、撮影、原版使用に供するものである。「川崎市市民ミュージアム観覧料及び特別利用等に関する要綱」の規定に基づき、申請の受付と承認の手続き、特別利用料の収納を行っています。

6 ミュージアムショップの運営に関する業務 【実施中】

川崎市市民ミュージアムが作成した刊行物等（図録、オリジナルグッズ等）をオンラインのミュージアムショップで販売しております。

なお、ショップの運営及び頒布代金の収納については、学芸業務受託者に委託しております。

令和5年度 市民ミュージアム事業費 予算

【支 出】

項 目	予算額
被災収蔵品修復関係経費 (修復委託、外部倉庫等)	370,671千円
学芸業務委託	327,743千円
施設管理関連経費 (新旧施設の維持管理、警備、仮設事務所の建物リース料、事務所移転経費等)	122,732千円
その他事務費等	70,130千円
合 計	891,276千円

<学芸業務委託の内訳>

展覧会・上映会経費	23,134千円
教育普及経費	2,750千円
広報関係経費	8,324千円
グッズ等作成・ショップ経費	660千円
収蔵品レスキュー関係経費	72,854千円
物品管理等経費	27,336千円
人件費その他	192,685千円

合 計	327,743千円
-----	-----------

【収 入】

項 目	予算額
財産収入 (特別利用、自動販売機設置場所の貸付)	214千円
寄付金	1,100千円
諸収入 (かわさき市美術展応募料、上映会入場料、ワークショップ受講費、ミュージアムショップ等)	1,486千円
合 計	2,800千円

川崎市市民ミュージアム 収蔵品レスキューの状況について

川崎市市民ミュージアムは、令和元年東日本台風により、地階に設置された収蔵庫が浸水し、建物や設備のみならず、収蔵品にも大きな被害が発生しました。

定期的な報告として、令和5年4月30日現在の状況をお知らせいたします。

1 収蔵品レスキューのこれまでの経過について（下線：前回からの更新箇所）

(1) これまでに支援いただいた団体

文化遺産防災ネットワーク推進会議（10団体）	その他支援・協力団体（7団体）
独立行政法人国立文化財機構	神奈川県博物館協会
独立行政法人国立美術館	日本大学芸術学部写真学科
大学共同利用機関法人人間文化研究機構	東京大学史料編纂所
国立国会図書館	学校法人専門学校 東洋美術学校
公益財団法人日本博物館協会	学校法人帝京大学
公益社団法人日本図書館協会	神奈川地域資料保全ネットワーク
全国美術館会議	学校法人東海大学
全国歴史民俗系博物館協議会	
特定非営利活動法人 文化財保存支援機構（JCP）	
一般社団法人国宝修理装飾師連盟	

(2) レスキュー支援体制（レスキューに入った延べ人数）

- ・委託事業者（指定管理者含む）14,744人
- ・川崎市職員 1,725人
- ・外部支援団体 3,851人
- 合計 20,320人

2 収蔵品のレスキュー状況（令和5年4月30日現在）（下線：前回からの更新箇所）

分野	収蔵品 総数	収蔵品内訳		被災 収蔵品 総数 ※1	レスキュー状況		
		作品・アーカイブズ資料・図書	寄託品		修復済 ※2	修復中 ※3	処分
歴史	42,377	39,696	2,681	29,423	<u>105</u>	<u>1</u>	0
民俗	13,981	13,951	30	13,738	<u>45</u>	<u>16</u>	<u>33</u>
考古	72,072	72,053	19	71,678	<u>46,855</u>	<u>0</u>	0
美術文芸	18,120	18,107	13	9,004	<u>2,162</u>	<u>649</u>	<u>1,844</u>
グラフィック	11,037	11,037	0	11,012	<u>233</u>	<u>161</u>	<u>6,566</u>
写真	33,113	32,932	181	21,395	<u>981</u>	<u>203</u>	<u>11,015</u>
漫画	74,503	74,503	0	73,679	<u>1,370</u>	<u>1,200</u>	<u>52,003</u>
映画	13,301	12,808	493	13,301	<u>1,534</u>	<u>1</u>	<u>957</u>
映像	28,131	27,238	893	2,413	0	0	1,129
合計	306,635	302,325	4,310	245,643	<u>53,285</u>	<u>2,231</u>	<u>73,547</u>

※1 レスキュー作業の状況等により、収蔵品数が増減する場合がある。

※2 修復不要を含む。

※3 修復前準備中を含む。

3 収蔵品のレスキュー状況概要（令和5年4月30日現在）

（★：前回からの更新箇所）

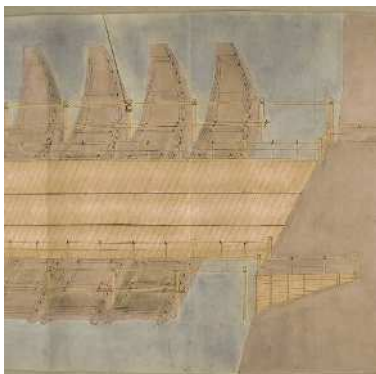
【指定文化財】

現状	資料名等
修復済 （修復不要を含む）	<ul style="list-style-type: none"> ★市重要郷土資料[民俗]「大師河原の漁撈具」のうち「モモヒキ」など3件 ★市重要歴史記念物[考古]「宿河原縄文時代低地遺跡出土品」のうち211件（修復不要） ★市重要歴史記念物[考古]「下原遺跡縄文時代後・晩期出土品」のうち2,425件（修復不要）
修復中	<ul style="list-style-type: none"> ・市重要歴史記念物[歴史]「古筆手鑑（披香殿）」 ★市重要郷土資料[民俗]「大師河原の漁撈具」のうち「漁業権並ニ入漁権書類綴」
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> ・市重要郷土資料[民俗]「獅子頭」1件 ・市重要郷土資料[民俗]「大師河原の漁撈具」のうち453件 ・市重要歴史記念物[考古]「細山坂東谷古墓出土火葬骨蔵器」12件 ・市重要歴史記念物[考古]「下原遺跡縄文時代後・晩期出土品」のうち62件

【歴史】

現状	資料名等
修復済	<ul style="list-style-type: none"> ★絵図「主上御東幸之節玉川船はしの図」など19件（写真1） ★破損仏など3件 ★瓦版12件 ★高札9件 ★双頭レール1件 ★浮世絵「虎山附近騎兵ヲ攻撃ス」など24件 ★宿方明細帳など12件
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> ・紙資料（古文書）約2,750件 ・紙資料（浮世絵、瓦版、絵図など）約20件 ・物資料（屏風、建築部材、電化製品など）約490件
応急処置中	<ul style="list-style-type: none"> ・紙資料（古文書）約4,450件 ・紙資料（古文書）約330箱
冷凍保管中	<ul style="list-style-type: none"> ・紙資料（古文書）約100箱 ・紙資料（広報紙、新聞、絵図など）約230件

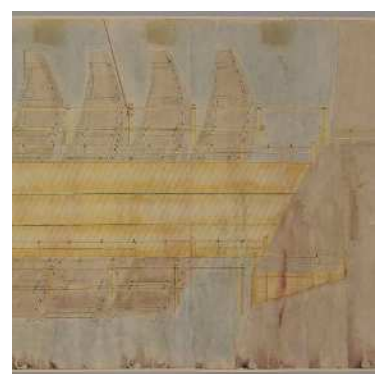
写真1 絵図「主上御東幸之節玉川船はしの図」



被災前



修復前



修復後

【民俗】

現状	資料名等
修復済	★絵馬「乳出し」など 26 件 (写真 2) ★浮世絵「とうせいうさぎのよめいり」など 7 件
修復中	★からくり人形 ★絵馬「向いめ」など 10 件 ・板戸 4 件
応急処置済	・紙資料 (掛軸など) 約 70 件 ・物資料 (民具など) 約 13,000 件
冷凍保管中	・紙資料 約 80 箱

写真 2 絵馬「乳出し」



被災前



修復前



修復後

【考古】

現状	資料名等
修復済 (修復不要を含む)	★「緑ヶ丘霊園南横穴墓群出土銅環」など 21 件 (写真 3) ★市内採集 (黒川東遺跡、万福寺遺跡、黒川地区遺跡など) の土器片、瓦片、石器など 8,684 件
応急処置済	★洗浄乾燥済 (4,356 箱)
応急処置中	・順次、洗浄・乾燥 (644 箱)

写真 3 緑ヶ丘霊園南横穴墓群出土銅環



被災前



修復前

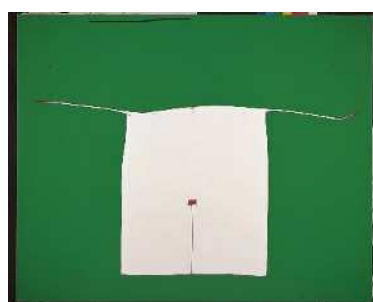


修復後

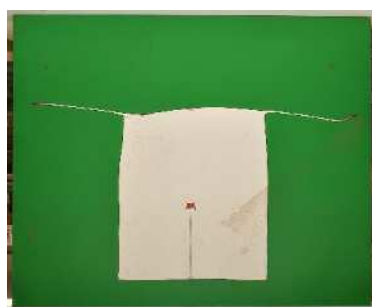
【美術文芸】

現状	資料名等
修復済	<ul style="list-style-type: none"> ★渡辺豊重「1982年ピクニック」など2点（写真4） ★斎藤寿一版画「青い点Ⅱ」、スケッチ など11点（写真5） ★田口米作「第一軍之斥侯摩天嶺探検之圖」など506点（写真6） ★安田鞞彦「小鏡子」 ★大矢紀 「有珠新山」など3点 ★結城天童「真珠養殖」 ★まど・みちお 絵日記 120点 ★田中岑「瑞光」など5点 ★麻生三郎「人」 ★佐藤惣之助 色紙 ★圓鏝勝三彫刻「誕生佛」など3点
修復中	<ul style="list-style-type: none"> ・安田鞞彦「神農」など2点 ・大矢紀 「須弥山図」 ・まど・みちお 絵日記 616点 ★渡辺豊重「桜蘭」 ★斎藤寿一「青い点」など24点 ★田中岑「森の径」など2点 ★樋口正一郎「光で色すくう90」 ★斎藤茂「奏でる」など2点
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> ・安田鞞彦本画 1点 ・大矢紀 20点 ・石渡風古画稿 約1,000点 ・結城天童作品、関連資料 約20点 ・佐藤惣之助、岡本かの子 約30点 ・市内作家 (渡辺豊重 約50点、田中岑 約100点 斎藤寿一 約65点、スケッチ 約10点、ほか現代作家 約25点) ・関連作品、資料 (浮世絵・明治期版画 約800点)
応急処置中	<ul style="list-style-type: none"> ・岩崎貴宏作品など9点
冷凍保管中	<ul style="list-style-type: none"> ・書籍、まど・みちお関連資料など15箱

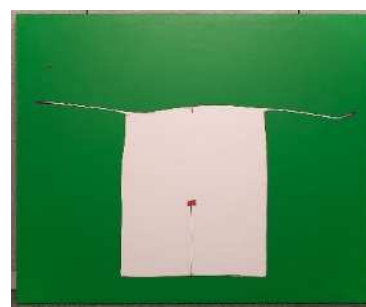
写真4 渡辺豊重「1982年ピクニック」



被災前



修復前



修復後

写真5 斎藤寿一「青い点Ⅱ」



被災前

修復前

修復後

写真6 田口米作「第一軍之斥侯摩天嶺探検之圖」



被災前

修復前

修復後

【グラフィック】

現状	資料名等
修復済	<ul style="list-style-type: none"> ★ロートレック「ムーラン・ルージュのラ・グーリュ」など5点(写真7) ★アール・ヌーヴォー ポスター(シェレ「エミール・ゾラの小説『大地』」など) 98点 ★アール・デコ ポスター(レオン・アストラヌ「パンプローナのサン・フェルミン祭」など) 11点 ★現代版画(デイヴィッド・ホックニー「ストラヴィンスキーのポスター」) ★貴重書籍(ロートレック「無精」など) 5点
修復中	<ul style="list-style-type: none"> ★アール・ヌーヴォー ポスター(A・トランキエ=トリアノン「ロワイヤ」など) 30点 ★アール・デコ ポスター(サネ「食前酒 ハイソサエティ(上流社会)」など) 93点 ★プロパガンダポスター(Z・K「児童愛護週間」など) 29点 ★外国ポスター(スティック「コミオの自転車部品」など) 9点
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> ・アール・ヌーヴォー ポスター 11点 ・アール・デコ ポスター 183点 ・現代版画 401点 ・プロパガンダポスター 107点 ・日本の現代ポスターなど 1,596点 ・オリンピックポスター、外国ポスターなど 811点 ・マガジンカバー 681点
冷凍保管中	<ul style="list-style-type: none"> ・外国ポスターなど 5箱

写真7 ロートレック「ムーラン・ルージュのラ・グーリュ」



被災前



修復前



修復後

【写真】

現状	資料名等
修復済	<ul style="list-style-type: none"> ★19世紀写真（カルロ・ポンティ「ヴェネツィアの運河」など） 91点（写真8） ★20世紀写真（存命作家）（飯田鉄「川崎区 1994」など） 52点 ★木村伊兵衛写真賞受賞作品 104点
修復中	<ul style="list-style-type: none"> ★19世紀写真（W.H. ジャクソン「ロス・ピノス溪谷」など） 192点 ★グラフ雑誌（「ソ連邦建設」） 11点
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> ・ 19世紀写真 61点 ★20世紀写真 63点 ・ 木村伊兵衛写真賞受賞作品 236点 ★グラフ雑誌、写真帖 39点 ・ カメラ機材 10件
冷凍保管中	<ul style="list-style-type: none"> ・ 19世紀写真、20世紀写真など 2箱 ・ 写真帖、雑誌、書籍など 82箱

写真8 カルロ・ポンティ「ヴェネツィアの運河」



被災前



修復前



修復後

【漫 画】

現状	資料名等
修復済	<ul style="list-style-type: none"> ★漫画原画（宍戸左行「スピード太郎(戦後版)」など）821点（写真9） ★油彩画（岡本一平「辻斬り」、井上洋介「電車図」） ★版本（鳥山石燕「図画百鬼夜行」）6点 ★浮世絵「子供遊連名附」など112件
修復中	<ul style="list-style-type: none"> ・漫画原画（岡本一平「風刺画」など）1,200点
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> ★漫画原画 2,530点 ・油彩画など 68点 ・軸 50点 ★漫画雑誌など 3,127点
応急処置中	<ul style="list-style-type: none"> ・漫画原画、漫画雑誌など 453点 ・亜鉛版 1件
冷凍保管中	<ul style="list-style-type: none"> ・原画、漫画雑誌、書籍など 約 210箱

写真9 宍戸左行「スピード太郎(戦後版)」



被災前



修復前

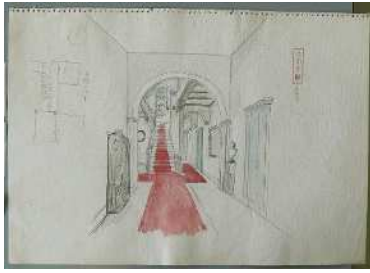


修復後

【映 画】

現状	資料名等
修復済	<ul style="list-style-type: none"> ★久保一雄スケッチ 500点（写真10） ★山本弘之「二十世紀梨を作る」
修復中	<ul style="list-style-type: none"> ・6mm 音声資料 1点
応急処置済	<ul style="list-style-type: none"> ・今井正「どっこい生きてる」など 984点 ・井手雅人関連資料 493点 ・久保一雄関連資料 4,355点 ・神代辰巳関連資料 89点 ・小川プロ関連資料 2,036点 ・独立プロ映画関連資料（ポスター） 33点
冷凍保管中	<ul style="list-style-type: none"> ・映画監督、脚本関連資料など 24箱

写真10 久保一雄スケッチ



被災前



修復前



修復後

【映像】

現状	資料名等
応急処置済	・日本映像カルチャーセンター関連作品など 277 点
冷凍保管中	・実相寺昭雄関連脚本など 12 箱

【借用】

現状	資料名等
修復中	・犬塚勉展作品（油彩画・スケッチ） 3 点

川崎市文化芸術振興会議規則（平成17年9月15日規則第99号）

最終改正:平成28年3月31日規則第13号

改正内容:平成28年3月31日規則第13号 [平成28年4月1日]

（趣旨）

第1条 この規則は、川崎市文化芸術振興条例（平成17年川崎市条例第8号）第9条第6項の規定に基づき、川崎市文化芸術振興会議（以下「振興会議」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（委員）

第2条 市民のうちから委嘱される委員は、公募によるものとする。

（会長及び副会長）

第3条 振興会議に会長及び副会長各1人を置き、委員の互選により定める。

2 会長は、会務を総理し、振興会議を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

（会議）

第4条 振興会議は会長が招集し、会長はその会議の議長となる。

2 振興会議は、委員及び議事に関係のある臨時委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 振興会議の議事は、出席した委員及び議事に関係のある臨時委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（関係者の出席）

第5条 振興会議は、その調査審議に必要ながあると認めるときは、関係者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

（部会）

第6条 振興会議は、必要に応じ部会を置くことができる。

2 部会に属すべき委員及び臨時委員は、会長が指名する。

3 部会に部会長1人を置き、部会に属する委員及び臨時委員の互選により定める。

4 部会長は、部会の事務を掌理し、部会の審議の経過及び結果を振興会議に報告するものとする。

5 部会の会議については、前2条の規定を準用する。

（庶務）

第7条 振興会議の庶務は、市民文化局において処理する。

（委任）

第8条 この規則に定めるもののほか、議事の手続その他振興会議の運営に関し必要な事項は、会長が振興会議に諮って定める。

附 則

この規則は、平成17年10月1日から施行する。

附 則（平成20年3月31日規則第16号抄）

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成28年3月31日規則第13号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会設置要綱

(趣旨)

第1条 この要綱は、川崎市文化芸術振興会議規則（平成17年9月15日規則第99号。以下「規則」という。）第6条に基づき設置する川崎市文化芸術振興会議市民ミュージアム部会（以下「市民ミュージアム部会」という。）について、川崎市文化芸術振興条例（平成17年3月24日条例第8号。以下「条例」という。）及び規則に定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

第2条 市民ミュージアム部会の所掌事務は、次のとおりとする。

- (1) 川崎市市民ミュージアムの事業評価に関すること
- (2) その他川崎市市民ミュージアムの円滑な運営に関すること

(組織等)

第3条 市民ミュージアム部会は、川崎市文化芸術振興会議（以下「振興会議」という。）の会長から指名された振興会議委員及び臨時委員によって構成する。

2 市民ミュージアム部会員の任期は、振興会議委員と同一とする。

3 任期の途中で部会員に欠員が出た場合は、振興会議会長が補欠の委員を指名するものとし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(庶務)

第4条 市民ミュージアム部会の庶務は、市民文化局川崎市市民ミュージアムにおいて処理する。

(その他)

第5条 この要綱に定めるもののほか、市民ミュージアム部会の運営に必要な事項は、部会長が部会に諮って定める。

附 則

この要綱は、令和4年10月1日から施行する。